

1. 事業実施の方針

2009 年度は、2007 年度に策定した中期ビジョンと目標を振り返り、新たに 5 年計画を策定し、(1) 発展途上国の子ども支援事業、(2) 発展途上国の子どもに関する情報発信・開発教育、(3) 子どもの権利条約普及・権利促進事業、(4) ネットワーク事業を行います。そして、昨年度に引き続き、これまでのカンボジア・プロジェクトの成果を評価します。

事業実施にあたっては、2009 年度、新しいスタッフが 4 名入ったことも考慮し、改めてシーライツのビジョン、ミッション（使命）、ゴールを検討し、互いにじっくり話し合うことでこれらを明確にし、会員、支援者の方々にもわかりやすく提示します。特に、初心にかえり、シーライツのどんな活動が必要とされているのか、子どもの権利ベースのアプローチというシーライツの「強み」をどのように活かしていけるのか、今後どのように子どもの権利を実現していけばいいのか、また、そのためにどのような組織になればいいのかを示すことができるように組織内できちんと議論していきます。

組織運営としては、シーライツの組織的体質を改善し、①認定 NPO 法人の申請、②国際協力センター (JANIC) で昨年策定された「アカウントビリティ・セルフチェック」制度への応募を目指します。

さらに今年度は、代表理事を中心に、新規採用のファンドレイジング担当スタッフとともに、シーライツのミッションに対する理解を社会から得て、会員およびマンスリーサポーターの拡大、および、支援者新規開拓を進め、財政基盤の安定を目指します。

2. 発展途上地域の子どもの支援事業

1) カンボジア・プロジェクト

4つのパートナー団体との協働で、1) 子どもの性的搾取、人身売買、児童労働の防止、2) 被害少女・女性の社会復帰支援、および、3) 学校における子どもの権利教育の推進、4) 子どもの教育を受ける権利の実現に取り組んでいきます。

具体的には、以下の事業を実施します。

① パートナー団体：子どものためのヘルスケアセンター（HCC）

① スパイリエン州チャントリア郡、およびコンボンロー郡における子どもの人身売買・児童労働防止ネットワークづくりと収入向上	
期間	2009年4月～2010年3月（2006年に開始。4年目）
目標	児童労働と人身売買のリスクが高いスパイリエン州の2地域において、人身売買につながる危険なベトナムへの子どもの出稼ぎをなくす
目的	学校を拠点とした人身売買防止ネットワーク(SBPN: School Based Prevention Network)を組織し、子どもたち自身の手で子どもの権利、人身売買の危険について意識啓発を行うと同時に、リスクの高い子どもたちの家族を収入向上プログラムと奨学金プログラムによって、通学支援し、人身売買の危険から守る。
内容	<p>チャントリア郡に加えてベトナムへの出稼ぎの多い隣のコンボンロー郡でも事業を実施する。チャントリア郡ではこれまでの事業の評価とフォローアップ活動を行う。コンボンロー郡では新たに小学校・中学校に10名からなるSBPNを組織し、子どもの権利や人身売買の手口、都会へ出稼ぎに行くことの危険性、児童労働、ジェンダー、DVについての研修を実施する。</p> <p>研修を受けた子どもたちが、それぞれの学校や村、家庭で啓発活動を実施する。</p> <p>チャントリア郡もしくはコンボンロー郡の貧困地域で新たに20世帯に対する収入向上プログラム(牛銀行、家庭菜園、貯蓄組合)を実施し、貧困家庭の少女たちの就学支援をおこない、ベトナムへの出稼ぎのリスクを軽減する。</p> <p>奨学金支給プログラムを継続し、50名の子どもに文房具セット・スクールバッグ、制服を支給。昨年来を支給した子どもたちの困窮状態をみながら対象家庭を検討し、米の奨学金を継続する。</p>
※国際ボランティア貯金、積水ハウスマッチングプログラム、真如苑、サッポロビール労働組合、連合などからの支援金により実施予定。	
② カンダール州にあるグッデイセンター(少女たちの保護施設兼職業訓練センター)における少女たちへの支援	
期間	随時
目的	センターに滞在する少女たちが自立に向けて訓練を受けながら健やかな生活を遅れるようにする。
内容	職業訓練を受けられるように少女たちの製品を購入したり(シーライツトレード)、製作において助言をしたりするほか、いただいた支援に応じて、必要な生活支援をする。
※全日本冠婚葬祭互助協会へ少女たちへの栄養食品費用の助成を申請中。	

② パートナー団体：フレンズ・インターナショナル

チャイルドセーフプログラム	
期間	2009年7月～2010年3月(2004年に開始。4回目)
内容	路上で暮らしたり働いたりする子どもたち(ストリートチルドレン)を性的虐待・性的搾取、暴力、麻薬などさまざまな危険や権利侵害から保護するために、バイクタクシーやトゥクトゥク運転手、ゲストハウスやホテルの従業員、ネットカフェやレストラン・バーの従業員に子どもを保護することができるようにするためのトレーニングをおこなう。
※全日本冠婚葬祭互助協会へ研修費や教材費用の助成を申請中。	

③ パートナー団体：アフエシップ (AFESIP)

幼い子どもを持つ人身売買・性的搾取の被害者への保育サービス事業	
期間	2009年4月～2010年3月（2005年9月に開始。5年目）
目標	性的搾取・性被害を受けた少女・女性の自立
目的	アフエシップの運営する職業訓練所を兼ねた回復支援センター、および、職業訓練を終えた女性たちが洋裁の技術を活かして生計を立てている縫製所で保育サービスを実施し、幼い子どもがいる少女・女性が安心して職業訓練を受けたり、仕事をしたりできるようにし、かつ子どもたちが健やかに育つ環境を整える。
内容	アフエシップの職業訓練センター「トムディ・センター」では、性的搾取から解放され別の道を歩もうとする女性に職業訓練をおこなっているが、幼い子どもがいる女性にもその機会を提供できるように保育サービスを実施する。具体的には子どもに必要な保育士、栄養・衛生用品を提供し、お母さんが職業訓練を受けている間に子どもたちの健やかな成長を確保する。さらにその技術を身につけた女性が縫製で生活していけるように働いている間の保育サービスを「フェアファッション」という縫製所で働く女性たちに提供する。
尚綱学院大学、その他の個人の方々からのご支援により、事業を実施する予定。 ※全日本冠婚葬祭互助協会へ食費、衛生用品費用の助成を申請中。	

④ パートナー団体：子ども権利基金(CRF)

子どもの性的搾取を防止するための学校における子どもの権利教育の推進	
期間	随時（2004年に開始）
目的	子どもの権利教育がカンボジアで推進され、子どもの権利が実現される社会をつくる。
内容	CRFは、教育局、教員養成校との協働で公立学校における子どもの権利教育を進めてきた。この事業を強化するために、支援の可能性を探る。
外務省 NGO 連携無償資金協力もしくは JICA のパートナー事業に申請することを検討する。 ※全日本冠婚葬祭互助協会へ啓発教材作成費を申請中。	

⑤ パートナー団体：子どものためのヘルスケアセンター (HCC)

スバイリエン州ベトナム国境の村で子どもの教育を受ける権利を実現する	
期間	2009年4月から学校竣工後2年間
目的	学校が遠くて通うことが困難な小学校低学年の子どもが学校に通えるようにするために学校を建設し、通学が困難な子どもがベトナムに出稼ぎ労働するのを防ぐ。
内容	スバイリエン州チャントリア郡ブラサートコミュニティー村に新しく3教室の学校を建設し、既存の小学校が遠くて通学が困難な子どもたちの通学を支援する。
「ぼけっと」*からの支援金によって実施。 *学校建設等の国際協力を行う日本の団体	

2) インド・プロジェクト

① パートナー団体：バタフライズ

時期	リジリエンスセンターの建設期間
目的	危険にさらされたり虐待にあたりたりしている子どもたち、特にデリーのストリートチルドレンに安全な場所を提供する。
内容	バタフライズがリジリエンスセンターの建設を完成させるための資金を支援する。
都子基金と NGO アリーナなど 2009 年度に集まったご寄付によって支援予定	

② パートナー団体：CWC(The Concerned for Working Children)

時期	年間を通して
内容	働く子どもたちの自立をめざし、子どもの権利が実現される社会をつかっていくリーダーを養成しているナマブーミで多くの子どもたちが質の高い教育や訓練を受けられるようにする。
都子基金と NGO アリーナなど 2009 年度に集まったご寄付によって支援予定	

3) シーライツトレード・プロジェクト

①販売

2009 年度売上目標 40 万円

主な販売スケジュール

時期	内容	場所	売上目標
5 月	クロマー展示会 主催：ボンナレット（事業メンバー）	鎌倉	4 万円
6 月	日本教職員組合 会報読者プレゼント	—	15 万円
9 月	NGO まつり in 上野	丸幸ビル	2 万円
10/3,4(土日)	グローバルフェスタ JAPAN2009	日比谷公園	5 万円
通年	講座、イベント等での販売	—	5 万円
通年	ボンナレットでの販売（卸含む）	ボンナレット	5 万円
通年	インターネット・会報等による販売	—	4 万円

※団体等による買取企画の検討

②現地調査・仕入ほか予定

時期	通年 ※8 月・3 月のスタディツアー含む
従事者	カンボジア事務所、東京事務所、事業メンバー
訪問先	カンボジア プノンペン
目標	売上目標金額分の商品調達
目的	上記スケジュールにて販売するための商品の仕入れ HCC・アフエシップ視察
内容	HCC・アフエシップの技術向上および商品企画 子どもや女性の自立支援を行うパートナーNGO 以外の施設における、日本のニーズに合う商品の調達（フェアトレード商品） 日本の購入者の声や写真を現地に伝えエンパワーする
渡航費	事務所経費（スタッフ）

3. 発展途上地域の子どもの権利状況に関する調査・研究・発信事業及び開発教育事業

1) スタディツアー

- 目的 ①カンボジアの子どもの現状について理解を深める
 ②シーライツの活動を理解してもらい、帰国した後、広めてもらう

対象 カンボジアの子どもの関心のある日本在住の人（高校生以上）

実施スケジュール

	期間	訪問地	内容	定員
第8回	2009/8/25-9/1 (6泊8日)	カンボジア (プノンペン、スバイ リエン、シムリアッ プ)	3つの現地パートナーNGOの訪問、 プロジェクトの視察、観光 (事前研修会：7月末予定)	16名
第9回	2010年3月 下旬 (6泊8日)	カンボジア (プノンペン、スバイ リエン、シムリアッ プ)	3つの現地パートナーNGOの訪問、 プロジェクトの視察、観光	16名

※最少催行人数8名

- ・事前研修会：前回のツアーメンバー（希望者）に報告を依頼する。
- ・報告書：参加者主体で作成。
- ・その他：会報で参加者の感想や報告を掲載する。

2) 学習会・講演会の開催等（以下は、現在確定しているもののみ。今後追加の予定。）

①イベント・講演会の開催

日付	名称・内容	会場	管轄
6/6 (土)	「めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2009」	大阪	大阪事務所
6/10 (水)	公開講座「借金返済のため労働を強いられる子どもたちの 現状～インドでの債務労働の実態と日本の関わり～」 報告者：甲斐田理事、内田理事	宮城大学 (仙台)	東京事務所

②講師派遣

日付	名称	講師・報告者	主催・会場
6/1 (月)	プレイバックシアター・チャリティ公演	岸 (テラー)	劇団プレイバックーズ
6/15 (月)	講演「カンボジアの少女や女性の新しい道 への支援」	甲斐田理事	尚絅学院大学 (仙台)
7/5 (日)	講演「カンボジアの少女の人身売買と性的 搾取」(『愛と希望をつなぐチャリティ・ジ ャズ・コンサート～人身売買と児童買春の 撲滅に向けて』において)	甲斐田理事	かなさし庸子・愛の歌基金 会場:新大久保スペース Do

③訪問受入れ

日付	団体・学校名	内容
5/19 (火)	岐阜県大垣市立江並中学校 中学3年生 12名	活動内容・子どもの権利について

その他、随時対応。

3) 出版

①カンボジア・プロジェクト

時期	年間を通して
内容	フレンズによる写真ワークショップのブックレット『想像してみて!』を通じて、フレンズの事業への理解を深め、支援者を拡大する。

②インド・プロジェクト

時期	年間を通して
随時	・昨年度末に出版した『小さな変革』の本を普及し、最悪の形態の債務児童労働について啓発活動を進める。出版記念イベントを仙台と大阪で実施する。 ・インドの児童労働関連の資料を翻訳し、会報に掲載する。

③子どもに関する国際協力の入門書

時期	2009年8月始め
内容	発展途上国の子どもに関する国際協力や、日本の子どもを取り巻く問題を理解する上での入門書を分担して執筆して出版する。

④出版物販売

これまで出版した書籍などの販売を促進する。

4) 会報

プロジェクトや活動の状況を報告し、子どもの権利を普及する目的で、年4回発行する。

号数	発行予定日	特集
第66号	6月末日	子どもの権利条約採択20周年記念特集 第1回 子どもの権利条約 第6条生きる権利、第38条武力紛争から保護される権利 「パレスチナにおける子どもの権利条約の意味」
第67号	9月末日	子どもの権利条約採択20周年記念特集 第2回 子どもの権利条約 第28条教育を受ける権利、第32条児童労働から保護される権利
第68号	12月末日	子どもの権利条約採択20周年記念特集 第3回 子どもの権利条約 第34条性的搾取から保護される権利 第39条犠牲になった子どもの心身の回復と社会復帰
第69号	3月末日	子どもの権利条約採択20周年記念特集 第4回 子どもの権利条約 第12条子どもの意見表明権 第15条集会・結社の自由

発行部数：600部 送付：正会員、賛助会員、マンスリーサポーター、その他

5) インターネットを通じた情報発信

①ホームページ

イベント情報提供、新刊書籍に関する情報発信、その他子どもの権利に関するリソースの提供、シーライツ関係者の執筆文の掲載

②ブログ

カンボジアだより：カンボジアの子どもたちの状況や活動内容について情報発信
東京事務所だより、大阪事務所だより：活動内容について情報発信

③WEBリリース

イベントおよび新刊書籍に関する情報提供
登録サイト（約12サイト）へ発信

4. 国連子どもの権利条約の普及事業、及び子どもの権利促進事業

日本国内で子どもの権利条約を普及し、子どもの権利に関して理解を深めるため、東京と大阪でイベントや講座を実施する。

1) 子どもの権利条約普及事業（東京、大阪）

子どもの権利条約採択 20 周年記念関連で、子どもの権利に関するイベントを東京と大阪で開催する事業の企画を行う。実施時期は未定。（今年度中に実施する場合は、総会后、理事会で決定）

2) 子どもの権利条約普及講座および基礎学習会（4回）（大阪）

第 1 回	4/26 (日)	子どもの教育を受ける権利（藤井理事）
第 2 回	5/24 (日)	カンボジアの農村の少女のエンパワーメント（中川香須美さん） ※新型インフルエンザの影響を考慮し中止
第 3 回	7/4 (土)	「インドシルク工場とカンボジアのレンガ工場で働かされる子どもたち～児童労働から保護される権利を考える」（甲斐田理事）
第 4 回	8 月（日程未定）	HIV エイズと子どもの権利（前嶋千里さん）

3) 11 月 14－15 日（土日）「子どもの権利条約フォーラム in とやま」への参加 分科会でワークショップを担当する（予定）。

5. 国際・国内団体とのネットワーク事業

1) 会員の継続

- ・(特活)国際協力 NGO センター (JANIC) の正会員を継続
- ・児童労働ネットワークの団体正会員を継続
- ・(特活)関西国際交流団体協議会の会員を継続
- ・(社福)大阪ボランティア協会 NPO 推進センターのパートナー登録を継続
- ・カンボジア市民フォーラムの会員を継続
- ・在カンボジア NGO 日本人ネットワーク (JNNC) の会員を継続
- ・人身売買禁止ネットワーク (JNATIP) の会員を継続
- ・教育協力 NGO ネットワーク (JNNE) の会員を継続
- ・CSR 推進 NGO ネットワークに参加継続
- ・チャリティプラットフォーム継続
- ・「ホームレス問題授業づくり全国ネット」との連携を検討
- ・ソーシャルビジネス全国ネットの ML に参加

2) 共同イベントの参加

日程	名称・内容	会場
6/6 (土)	児童労働反対世界デー・シンポジウム パネリスト：甲斐田理事	全電通労働会館ホール (東京・千代田区) ※物販デスク参加
6/6 (土)	児童労働反対世界デー・ウォーク	大阪御堂筋
9 月	NGO まつり in 上野	丸幸ビル (東京・台東区)
10/3,4 (土日)	グローバルフェスタ JAPAN2009	日比谷公園 (東京・日比谷)
2/6,7 (土日)	ワン・ワールド・フェスティバル	大阪国際交流センター

3) 政策提言

時期	手段	内容
随時	教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)	児童労働廃絶のためには教育が重要であることを訴える
随時	セミナーやカンボジアの ENJJ 連携促進会議などの機会	カンボジアの法執行力の重要性や子どもの権利基盤型アプローチの重要性を訴える。

6. その他、この団体の目的を達成するために必要な事業

1) 理事会の運営

年 4 回、下記日程で理事会を開催する。議題は予定。

4/26(日)	第 8 回理事会 議題：2008 年度事業報告・収支決算案、2009 年度事業計画・予算案
6/13(土)	第 9 回理事会 議題：事務局長・事務所長の任命、ほか
10 月	第 10 回理事会 議題：上半期決算、ほか
2 月	第 11 回理事会 議題：2009 年度の振り返りと決算見込み、2010 年度の事業計画・予算

2) 各事務所の組織運営

東京事務所	3 名のスタッフが事務作業（会員管理、会計、問合せ対応、助成金申請、総務労務、広報、シーライツトレード事業等）を分担。 開所：平日 9 時半～17 時半
大阪事務所	2009 年 4 月にスタッフが 1 名配属。週 3 日勤務。6 月より新所長就任予定。 開所：毎週月水木曜日 10 時～16 時
カンボジア事務所	所長とインターンの 2 名体制でカンボジア・プロジェクト事業を進める。 日本人スタッフ 1 名およびローカルスタッフ 1 名雇用予定。 開所：平日 8 時半～12 時、14 時～17 時半

3) 広報

①取材受入れ

日程	媒体	取材元
3 月	BS テレビ「きょうの世界」 3 月 11 日放送	NHK 報道局
4 月	月刊誌「マリクレール」 6 月号に掲載予定	株式会社マリクレール編集部

その他、依頼に応じて随時対応。

②執筆・投稿

4 月 JANIC 機関誌「シナジー」へ投稿（内容：新刊書籍「小さな変革」に関する情報の掲載）
その他、執筆依頼に関しては随時対応。

③関係団体とのネットワーキング

5 月 JNNE 総会へ出席
6 月 児童労働ネットワーク主催イベントでの企画・運営協力
その他、依頼や要請に随時対応。

4) 資金調達

①助成金・寄付金

団体名・助成金名	申請金額	申請内容	結果発表時期
(社)全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 (2009年2月申請済)	1,915,000円	カンボジア事業	2009年5月 505,000円入金済
連合・愛のカンパ(2009年3月申請済・5月ヒアリング済)	25万円	カンボジア事業(3年目・最終)	2009年9月
(株)スペース・ゼロ (2009年4月申請済)	30万円	カンボジア事業	2009年4月入金済
日本オラクル有志の会 (2009年5月申請済)	70万円	シーライツ・トレード事業(PC)	2009年8月
国際ボランティア貯金 H21年度配分金	未定	カンボジア事業	2010年3月

②会員

個人会員：昨年度の増加率（正会員 13%増、賛助会員 23%増）と同水準、もしくはそれ以上を目標とする。現在 223 名⇒270~300 名

法人会員：新規に 30 口（一口 30,000 円）の獲得を目標とする。
チャリティ・プラットフォーム入会

③マンスリーサポーター

新規登録目標 30 名（一口 1,000 円、30 口以上）

④その他

組織の安定化を図るため、管理費・人件費等の事務局運営費用を調達

- ・定額給付金基金（チャリティ・プラットフォーム主催）に参加
- ・事務機器等に対する助成金の申請
- ・インターネット寄付の強化

カンボジア・プロジェクト増強のため、新規寄付者および法人・団体との提携プロジェクトの検討

5) 危機管理

昨年同様、「セクシュアルハラスメント等を含む人権侵害防止および対策に関する規定」に基づいたセクシュアルハラスメント防止の研修を、理事・事務所職員に対して実施するとともに、今年度は、運営上での危機防止のための規定見直しと人材育成を基本にした職務権限に対するマニュアルの試作を検討。